

安心して在宅生活を送れる為の ショートステイとは・・・

特別養護老人ホーム 芦別慈恵園
業務指導係長 和田直樹
(生活相談員)

社会福祉法人 芦別慈恵園 基本理念



社会福祉法人 芦別慈恵園 併設型短期入所生活介護では

- 平成13年8月19日
全面改築時6床に増床
⇒芦別市内SSのベッドが8床に
- 本体特養がユニット化へ・・・
ショートステイも専門のCW配置
⇒顔なじみの関係作り

併設型短期入所生活介護

- サービスとして工夫した点
フェイスシートの充実
(お部屋の様子や過ごし方)
送迎方法
居室の環境整備
リビングの環境整備

送迎方法

- ご家族からの情報
- 担当ケアワーカーがお迎え
- お便りノート作成
⇒ご家族に利用の様子を
分かりやすく
- ケアマネが送り状況説明

居室

- どのようにするとくつろげるのか？
- 長期の入居者とは違う
- 家の環境は人それぞれ
⇒ベッドの向きなど自宅に似せて
その都度居室を準備する
(ベッド・ソファ・テレビ等)



リビング・食堂

- パーティションで区切る
- 6名で利用する空間を設ける
⇒ユニット化
- 炊飯や味噌汁を目の前で作り、一緒に食事準備を行う
- 食事の雰囲気
(食器・提供方法)



トイレ

- トイレはご利用者、職員ともに使用する
⇒臭いや汚れに対しても敏感に
- 尿とりパットなど目に付かないような工夫



- 昨年度・・・稼働率もほぼ100%
- 今年度・・・85～90%台に



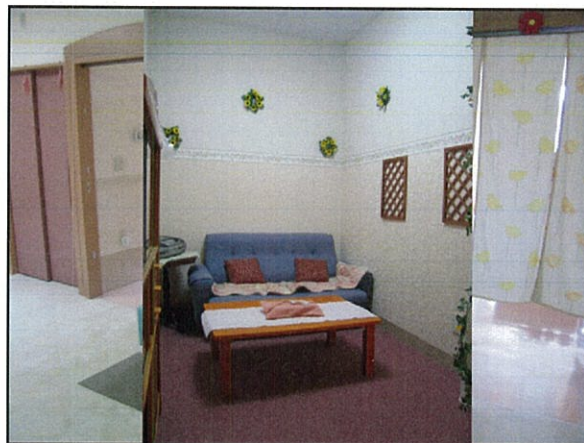
ご利用者に確認
(本人や他事業所等)

「暇だ」

「つまらない」

取り組み

- 居室の見直し
⇒お迎え時にもう一度自宅での生活を確認する
- 他のユニットとの情報の共有化
(夜間対応等)
- 新しい環境(趣味など)
- 何度も利用して頂けるように…



何度も利用して頂けるように…

- 毎週行事を立案
⇒ショートユニット会議で翌月の利用状況を確認し作成
- ★天候を見ながら、本人に確認して
 - ♪散歩
 - ♪ドライブ
 - ♪外で食事
 - ♪買い物



取り組みを行ってみて…

- ご利用者の家での生活が見えてきた
- ニーズを基にケアプランの作成
- ケアプランを理解できるように
- 体調変化にも気付きやすく



スタッフとして成長

今後の課題

- 更に在宅生活が続けられる様に
- 自信を持って緊急利用を受け入れていけるように
- ご本人、ご家族ともの要望に
 応えられる様に
- 一緒に時間を過ごせるように
- 地域との係わりを大切に⇒企画